



フードバンク関西ニュース

2006年12月23日 第10号

2006年12月23日発行

NPO法人フードバンク関西

事務所 芦屋市呉川町1-15

Tel/Fax 0797-34-8330

E-mail foodbank05@yahoo.co.jp

フードバンク関西は食品関連企業から余剰食品を

受け取り、支援を必要とする人達を支える非営利団体にそれらが無償提供する活動をしています。

フードバンク関西は、9月から米の提供を開始しました。



去る7月発行の「フードバンク関西ニュース第9号」に、皆様に米の無償提供をお願いする記事を掲載しました。早速それに応じて、マックスバリュ西日本株式会社が、経営する130店舗のスーパーマーケットで、精米から2ヶ月という同社規定の販売期限を過ぎた、又は包装破損等で商品として扱えなくなった米を、フードバンク関西に提供して下さる事になりました。

これで私達の主食である米を、毎月定期的に、支援を必要とする人達を支える福祉団体に、無償提供することが出来るようになり、ボランティア一同、やっとフードバンクとして一人前になったような、晴れがましい嬉しい気分です。既に13の福祉団体に毎月30キロの米の分配を始めています。今後、取り扱える米の量について見通しのついた

ところで、さらに受け取りを希望する、非営利福祉団体の数を増やしていく事が可能になると思います。米の定期提供を希望する非営利福祉団体は、是非事務局までご相談ください。

「しみん基金・こうべ」から助成金をいただく事が出来ました。

特定非営利活動法人「しみん基金・こうべ」が主催する、平成18年度しみん基金・こうべ助成事業にフードバンク関西も応募し、書類審査を経た後、10月27日の公開審査会を経て、助成団体に選考されました。今年10月から来年3月までの事業に対し、50万円の助成金をいただく事が出来ました。審査会では、つたないプレゼンテーションを行いました。デモンストレーションとして、私達がデリバリー活動で毎日取り扱っている、パン、野菜果物を会場に持参し、審査員の皆様に、実際に何の遜色も無い立派な食べ物が、余剰食品として現実に廃棄されている「勿体なさ」を、実感していただいたのが、よかったです。事業の拡大に伴って運営費が膨らむにも係わらず、相変わらず資金不足に苦しむNPO法人フードバンク関西としては、この助成金は綱渡りの命の綱、本当にありがたく、このような形で、日々の私達の活動を評価していただく事は、ボランティア一同の大きな励みです。皆様のご期待に沿えるよう、食べ物を大切に、お互い助け合う暮らしやすい社会作りを目指して、事業の継続と拡大へ、皆様と心を合わせて、精一杯の努力をいたします。

フードバンク関西 平成17年度総会報告

11月12日、特定非営利活動法人フードバンク関西の平成17年度通常総会が開催されました。フードバンク関西は年度末が8月なので、総会はこの時期に行われます。今回は、芦屋事務所の談話室を会場としました。狭い会場ですが、理事、正会員、ボランティアの皆さんが集まり、肩寄せ合って慎ましく、フードバンク関西らしい総会になりました。

昨年度、フードバンク関西は、60.8トにも及ぶ余剰食品を、受け取り団体に運び、食べ物として有効に使っていただく事が出来ました。総会では、平成17年度の事業報告や決算報告の後、平成18年度の事業計画と予算が承認され、2007年1月から主たる事務所を芦屋事務所に変更する事や、2006年5月から試行していた喫茶・軽食事業「ふれあい工房悠」を、「その他の事業」として定款に盛り込む事などを決議しました。まず、平成17年度の事業報告書をご紹介します。

17年度事業報告書

(平成17年9月1日から平成18年8月31日まで)

(1) 事業活動の状況

フードバンク関西は、平成15年2月から約1年間の準備期間を経て、平成16年1月20日兵庫県知事の認証を得、同月26日特定非営利活動法人格を取得し、法人として活動を開始しました。去る平成18年8月31日をもって第3期会計年度を終了する事が出来ました。当法人は、食品関連企業等から余剰食品を回収し、社会福祉施設や生活困窮者の自立を支援する非営利福祉団体にこれら回収食品を無償提供する事により、これら非営利福祉団体を支援することを事業目的として、尼崎市と芦屋市に倉庫兼事務所を構え、阪神地区で事業を展開しております。この活動を通して、食べ物として美味しく栄養もあり安全な余剰食品の有効活用を図ると共に、生活弱者を支える非営利福祉団体を支援することにより、互いに助け合い、より多くの人がより豊かな生活を楽しむことができる社会の実現に寄与したいと考えています。

当期、私達は、取り扱い余剰食品の多様化と量の増加のために、法人設立時に設置した尼崎市南清水の事務所兼倉庫1ヶ所では、食品の一時保管と福祉団体へのデリバリー活動が効率よく行えない状況に対応するため、二つ目の事務所兼倉庫の開設を計画し、11月末にファイザー株式会社の社会貢献活動「ファイザープログラム - 心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援」より、200万円の助成金を得る事が出来た事で財政的な後援を得、本年度、新事務所の開設を実現することが出来ました。

即ち2006年1月、芦屋市呉川町に木造一戸建て家屋の1階部分を賃借し、屋内を事務所兼談話室用に整備し、2月にはその駐車場部分の一部にプレハブ式の大容量冷蔵設備を設置しました。談話室の活用を図る一環として、4月には厨房設備を整備し、土曜日だけの喫茶事業を5月から開始しました。また、車椅子搬送機能を備えた中古の軽自動車を、当面は食品運搬用、そして将来は障害者やご老人を搬送する事も視野に入れて購入しました。これにより、週2回、水、土曜日に六甲アイランド、ポートアイランドの物流倉庫から引き取る半解凍状態の鶏肉加工済食品を、芦屋事務所の冷蔵設備に入れてチルド状態で保管し、週一度木曜日に大阪西成のホームレスシェルターに、品質を維持したまま、まとめて搬送する事が可能になると共に、量の増加が著

しいコストコホールセール尼崎からの引き取り余剰食品も、尼崎と芦屋の事務所に分散させて一時保管する事が可能になりました。余剰食品を無償提供して下さる事業所は、企業5社とNPO法人1団体となりました。本年度に新たに食品提供者となったNPO法人セカンドハーベストジャパンは、フードバンク活動を東京中心に行っているボランティア団体です。今年7月に3回、この団体が食品メーカーから大量に提供を受けた食品の一部として、缶スープ等合計8トンの食品の無償提供を受けました。

本年度1年間でフードバンク関西が取り扱った余剰食品の総量は60.8トンになり、量の増加が顕著でした。また、これらを食べ物として有効に活用して下さる非営利福祉団体の数も17団体から22団体に増加し、週当たり延受益者数も3500人を越え、前年度より約千人増加していると考えられます。

私達の広報誌、「フードバンク関西ニュース」は、会員への活動報告と関西地域に事業所を構える食品関連企業への協働の呼びかけを目的に、年に数回発行しています。2月と7月に発行した第8号、第9号に掲載した余剰食品の無償提供のお願いと有効活用の呼び掛けに、マックスバリュ西日本株式会社が応えて下さり、平成18年度から毎月定期的に、同社130店舗で販売期限を超えた米を、毎月無償提供して下さることになっております。これにより、私達が取り扱う食品は、米、パン、野菜果物、鶏肉加工済食品、スパゲッティ、菓子類と、私達日本人の食べ物として大切な種類をほぼ網羅し、それら食品を受け取り、活用して下さる団体にとっても、フードバンク関西からの支援は欠く事の出来ないものと成り得ていると確信しています。

2004年3月から大型商業施設との協働で開始した、作業所生産品バザー「来て、見て、買ってね!」は、2ヶ月に一度の頻度で、平均8~10ヶ所程度の身障者通所作業所の参加を得て、定例的に開催し続けており、今年7月に第15回目のバザーを無事終了しました。今後も2ヶ月に一度の頻度で継続していきます。このバザーは身障者通所作業所の手作り製品を、一般購買者に販売する貴重な機会となっており、それが定例的に開催される意義は大きいと考えます。

私達の事業は、平成17年度「NPOと企業の協働奨励事業」として、兵庫県社会福祉協議会から他の4団体と共に奨励賞を受ける事になり、3月西宮市で表彰式があり、表彰状と共に奨励金を戴く事ができました。また、ジョンソンエンドジョンソン株式会社の社会貢献委員会からは、本年度もまた活動費の支援を受ける事が出来ました。この支援は当法人初年度からずっと続いており、私達の活動の大きな支えになっています。毎日地道に作業に携わっている私達ボランティアにとって、皆様からこのような形で評価を受ける事は何よりの励ましとなっています。

今後とも正会員、賛助会員並びに余剰食品を提供して下さる企業の方々を含め、ご関係の皆様方には一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

続いて、平成18年度の事業計画書をご紹介します。本年度は、昨年度のステップアップを確実にするべく、基盤固めの年度になります。ボランティアの人数から考えれば、現在の食品取扱量は最大限です。事務所の拡充、デリバリー事業の内容の充実等、ハード面での拡充は現在までにおおよそは図れました。本年度は、ボランティアの増員、運営資金の恒常的確保の方法等、ソフト面での拡充がポイントです。本年度は、フードバンク関西が長期的展望を持つNPO法人となれるかの、要の年度と考えています。

平成18年度事業計画書

(平成18年9月1日から平成19年8月31日まで)

I 余剰食品の回収と非営利団体への無償提供事業について

平成17年度に引き続き本年度も、フードバンク関西は、関連業者から余剰食品と余剰生活用品を回収し、社会福祉施設や生活困窮者の自立を支援する非営利団体にこれら食品等は無償提供する事業を継続し発展させます。

事業の拡大の一つとして、マックスバリュ西日本株式会社が、フードバンク関西の呼び掛けに応じて、本年度9月からこの事業に協働して下さる事になり、毎月かなりの量の米を、無償で提供して下さることになっています。具体的には、同社が経営する130店舗のスーパーマーケットで販売期限を過ぎて余剰となった米を、毎月2回、フードバンク関西が、神戸市西区の物流センターで引き取ることが出来るようになりました。これにより本年度は、私達の食卓に欠かすことが出来ない主食である米を、定常的かつ多量に取り扱うことが出来るようになり、フードバンク関西の余剰食品の回収と非営利福祉団体への無償提供による支援事業は、飛躍的にその内容の充実を図ることが出来るようになりました。フードバンク関西は、既に食品の提供を続けている非営利福祉団体への、新たな米の提供に加えて、主に障害者の自立支援のために活動する小規模作業所や共同生活ホームを新たな支援対象として、その米を有効活用して下さる受け取り団体を増やす努力をしていきます。

また、昨年度と同様に、「フードバンク関西ニュース」を年に数回発行し、会員への活動報告だけでなく、食品関連企業への情報提供と、フードバンク関西との協働のよびかけを続けます。

フードバンク関西の取扱い食品量は、毎月増加し続けており、平成17年1月～12月の年間の取扱量が約40トであったのが、昨年度1年間、つまり平成17年9月～18年8月までの間では約61トと、8ヶ月間の時間差で1.5倍となっております。それに伴い、ボランティアの作業の負担増をどのように解消するかという事が、今フードバンク関西が直面している大きな問題です。

その解決方法の一つとして、本年度新たに開始される米の分配は、今までのパン、野菜果物のように、ボランティアが配達し分配するのではなく、受け取り団体の協力も組み入れ、提供企業からの米の回収はフードバンク関西が行い、引き取った米は芦屋事務所に保管し、各受け取り団体が、所定の日時に、芦屋事務所まで米を引き取りに来る方法を取り、作業の効率向上を図っていきます。将来は、米だけでなく、常温で保管できる食品や生活雑貨等は、必要とする団体がフードバンク関西の事務所まで受け取りに来る方法をとりたいと考えています。

また、活動の拡大のためにはボランティアの増員が急務ですが、より多くの協力者を得るためには、ボランティアが快適に作業に携われる環境を整える必要があります。現在は、ボランティアの無償の労働奉仕に依存して、フードバンク関西の活動は成り立っていますが、人々の善意に全面依存してのボランティアの増員は、かなり困難な事と思われまます。そこで出来れば本年度中に、財源の見通しが立った段階で、現在ボランティアにお渡ししているガソリン代、高速料金等の必要経費に加えて、作業手当を導入したいと考えています。これによりボランティアが活動に対して、より一層の充実感と励みを感じられるようになれば、新しいボランティアを勧誘することも容易となり、増員も実現可能と考えます。しかし、これを実現するための財源の確保は容易ではありません。そこで、この事業に対する社会全体からの理解と支援を得やすくする手段の一つとして、認定NPO

法人の資格を得る準備に入ります。本年度から準備に入り、条件が整った段階で国税庁へ申請手続きをします。そしてなるべく早期に認定NPO法人となり、フードバンク関西への企業や個人からの寄付に対し、税法上の優遇措置が受けられる団体へと進化し、より多くの企業や個人からのご支援を仰ぎたいと考えます。

II 小規模作業所生産品バザーへの取り組みについて

フードバンク関西の社会貢献のもう一つの形として、余剰食品の提供業者であるカルフル尼崎店と、食品受け入れ団体の小規模作業所との間をつなぎ、カルフル尼崎店の1階商業スペースの一部を無償で借り受け、フードバンク関西がマネジメントを引き受けて、2ヶ月に一度の頻度で、出店料無料の作業所生産品バザーを開催しています。2004年3月からスタートし、今年9月で第16回の開催となりました。新たな作業所もメンバーに加わり、毎回8ヶ所程度の作業所の参加で行っています。このバザーは、一般購買客への販路を確保しにくい作業所にとって、貴重な販売の機会になっており、生産品の品質の向上と、売れ筋商品の開発のための研修の場として、また、接客する事を通して、通所者と一般の方々との交流の機会ともなっております。この事業は、奇数月の第4日曜日の開催を原則として、今後も継続していきます。

III 「ふれあい工房 悠（はるか）」について

昨年度5月から、芦屋事務所の談話室と十分な広さを持つ厨房を有効活用するため、土曜日昼食時3時間だけの、飲み物と簡単なランチを提供する喫茶「ふれあい工房 悠」の営業を開始しました。調理士資格を持つボランティアを中心に運営しています。非常に良心的な値段なので、収益は期待できませんが、地域の皆さんとボランティアとの交流の場、フードバンク関西の情報発信の場として、開業からまだ数ヶ月ながら、よい雰囲気の中で少しずつ来客数を増やしています。時間の経過と共に地域にも根付いて、芦屋事務所が近隣の方々の交流の場となると共に、人々のフードバンク関西の活動への理解と支援を培っていく場として今後の発展を期待しつつ、本年度もこの事業を続けます。また、フードバンク関西のもう一つの新たな事業として計画中の、手助けを必要とする一般の方々への有償サービス提供事業については、時間をかけて内容の検討を行い、ボランティアの増員と平行しながら、ボランティアへの負担が大きくなる形での運営を考えていきます。

フードバンク関西は、2007年1月1日より主たる事務所を、芦屋市に移転します。
2006年5月に開所した二つ目の事務所である芦屋事務所の事務所機能が整備され、交通も便利なので、フードバンク関西は法人の主たる事務所を尼崎南清水から芦屋市呉川町へと移転します。なお、1月からは、尼崎事務所は食品保管倉庫とし、電話等も移転しますのでフードバンク関西への連絡は、1月以降すべて芦屋事務所にお願い致します。

フードバンク関西芦屋事務所 〒659-0051 芦屋市呉川町1-15

電話・ファックス 0797-34-8330

e-mail foodbank05@yahoo.co.jp

homepage <http://foodbankkansai.web.infoseek.co.jp>

皆様のご支援によって、フードバンク関西は活動を続けています。昨年度の正会員、賛助会員の皆様、そしてご寄附を下さった皆様、ありがとうございました。本年度もご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成17年度（平成17年9月～平成18年8月）

賛助会員、ご寄附を下さった方々のお名前（敬称略）

山本成子 濱崎由紀 大東祥成 伊丹威 陳美珠 芝真理子 春日裕子 黒澤麗 西山和彦
西山清志 藤井久美子 浅葉修 森美代子 森田孝 田中和義 横江陽子 吉田チズ子
土谷正朗 松本良夫 西口貴治 高橋玲子 木村とみえ 有元公子 青木恵子 大山知子
望月節 望月脩 徳永葉子 望月暁 望月利人 マリークレール・ピカール・望月 望月光
鈴木美帆 鈴木恵子 川西弘史 島田康弘 庄司勤 庄司美奈子 福富英明 藤田真佐子
浅葉由貴 田村学 宇根由理子 赤野樹音 柚山寿美 林豊子 岡宏樹 仲松順子 岡野初美
岡本義則 川西紀子 岸田美津子 黒田長 小寺美佐緒 小西啓介 坂本憲治 佐藤林藏
塩浜美代子 島田明子 田中鏡子 田中祥子 田辺恵理子 徳永晴子 難波孝子 平原康子
丸山至 村尾美佐子 土谷好子 福本雅子 岩田喜行 藤田治 山本茂 津川仲二 南原靖一郎
石井義高 南都伸介 田上順一 森陽一郎 杉山嘉夫 川西美年 夢っとぴあ いくの学園
タオ工房 信愛学園 さくら苑さくら会 神愛子供ホーム 愛信愛隣舎 尼崎厚生はすの会
NPOコスモス 神戸真生塾 三田谷治療教育院 芦屋みどり福祉作業所 大阪イエス中心教会
双葉学園 NPO釜が崎支援機構 同朋学園 愛信学園 ひまわりファクトリー
作業所スパークス ボランティア味彩グループ (株)セキ・パール (有)川上木型製作所
(株)ジャパンフードサービス 高羽少年野球チーム 岡本水産商業 摩耶電気工業所

助成金 支援金を下さった企業および団体のお名前

ファイザー株式会社ファイザープログラム ジョンソンエンドジョンソン株式会社
兵庫県社会福祉協議会（NPO・企業協働事業奨励金）

食品または物品をご提供くださった企業および団体のお名前

コストコホールセールジャパン(株) イオンマルシェ(株) ネスレジャパン(株)
(株)ジャパンフードサービス Foreign Buyers' Club NPO セカンドハーベストジャパン
丸紅CLS (株) ジョンソンエンドジョンソン (株)

平成18年度9月～11月

新賛助会員、ご寄附を下さった方々のお名前（敬称略）

八木博子 南都嘉宏 中馬映子 中馬透 長倉英明

ウイメンズネットこうべ 共同ホーム
カトリック明石教会 ファレ・モナモナ

助成金

しみん基金こうべ

新年度から食品をご提供くださる企業

マックスバリュ西日本株式会社



特定非営利活動法人フードバンク関西 芦屋市呉川町1-15 TEL/Fax 0797-34-8330

e-mail foodbank05@yahoo.co.jp homepage <http://foodbankkansai.web.infoseek.co.jp>